



園 だ よ り

令和7年度春休み号 認定こども園 長者幼稚園

TEL 45-1941 fax 45-1943

ホームページ<http://choja-youchien.com/>

2026/3/26発行



竹のように伸びやかに



園長 田村 元

やわらかな春の日差しが園庭を包み、色とりどりの花々が咲き競う季節となりました。

去る3月11日、卒園証書授与式並びに卒園を祝う会が執り行われ、年長ひまわり組のこども達が晴れやかに本園を巣立っていきました。これにより、本園の卒園生は2,726名を数えることとなりました。大切なお子様をお預かりしたあの日から本日まで、職員一同、真摯に教育・保育活動に励んでまいりました。これまでの皆様の深いご理解と温かいご協力に対し、心より感謝申し上げます。

さて、園内の「わんぱくの森」でこども達が親しんでいる「竹」には、驚くべき秘密があるのをご存知でしょうか。

一つ目は、たけのこが土の中にいる時から、将来竹になった時の「節の数」はすでに決まっているということです。地上の光を浴びる前から、自分がどのような姿になり、どれほどの高さまで伸びるのかという「設計図」を、しっかりと抱いて生まれてくるのだそうです。

これは、こども達も同じではないでしょうか。一人ひとりが、その子にしかない素晴らしい才能や可能性という「節」を、生まれながらに持っています。私たち職員はこの一年、その節が一つひとつ健やかに伸びゆく姿を、間近で見守らせていただきました。進級を迎える在園児も同様です。こども達の「心の設計図」には、新しい節を伸ばす準備がすでに整っています。入学・進級という新しい環境の中で、一回り大きく成長していく姿を、今から楽しみにしています。

二つ目は、「節」の役割です。竹に節があるのは、折れずにしなやかでいるためだそうです。節があるからこそ、冬の寒さの中でも青々と葉を茂らせ、重い雪が積もっても折れることなく受け流し、空に向かって真っ直ぐに伸びることができるのです。

園で過ごした日々の中で、こども達の心にもたくさんの「節」が刻まれました。友達と笑い合った日、一生懸命に練習した運動会や発表会。その経験の一つひとつが、こども達を支える強固な節となりました。

こども達がこれほどまでに真っ直ぐ伸びることができたのは、保護者の皆様の愛情という、何ものにも代えがたい栄養があったからこそです。これからも竹のように真っ直ぐに、そしてしなやかに、お子様方の未来が希望と光に満ちたものになることを、心よりお祈りいたしております。皆様のお大切なお子様をお預かりしました時から、本日まで職員一同、真摯に教育・保育活動に取り組んできましたが、この間、終始深いご理解と温かいご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。



令和8年度の担任等発表について

◇4月1日(水) 8:00 メール配信で公表及び

玄関に示す予定です

ありがとうございます ビデオ編集機 システム



卒園記念品